

#5

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Makoto KIMURA : Docket No. 2001_1052A

Serial No. 09/910,908 : Group Art Unit 2611

Filed July 24, 2001 : THE COMMISSIONER IS AUTHORIZED
INFORMATION SERVICE SYSTEM LINKED
TO BROADCASTING SYSTEM : TO CHARGE ANY DEFICIENCY IN THE
FEE FOR THIS PAPER TO DEPOSIT
ACCOUNT NO. 23-0975.

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119

Assistant Commissioner for Patents,
Washington, DC 20231

Sir:

Applicant in the above-entitled application hereby claims the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 222008/2000, filed July 24, 2000, as acknowledged in the Declaration of this application.

A certified copy of said Japanese Patent Application is submitted herewith.

Respectfully submitted,

Makoto KIMURA

By 
Michael S. Huppert
Registration No. 40,268
Attorney for Applicant

MSH/kjf
Washington, D.C. 20006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
September 25, 2001

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 7月24日

出願番号

Application Number:

特願2000-222008

出願人

Applicant(s):

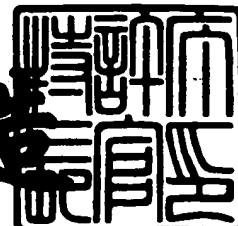
株式会社メディアグラム

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月13日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 001514

【提出日】 平成12年 7月24日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都渋谷区渋谷1丁目22番2号 株式会社メディアグラム内

【氏名】 木村 真

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都渋谷区渋谷1丁目22番2号

【氏名又は名称】 株式会社メディアグラム

【代理人】

【識別番号】 100089705

【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル2
06区 ユアサハラ法律特許事務所

【弁理士】

【氏名又は名称】 杜本 一夫

【電話番号】 03-3270-6641

【選任した代理人】

【識別番号】 100071124

【弁理士】

【氏名又は名称】 今井 庄亮

【選任した代理人】

【識別番号】 100076691

【弁理士】

【氏名又は名称】 増井 忠式

【選任した代理人】

【識別番号】 100075270

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 泰

【選任した代理人】

【識別番号】 100096013

【弁理士】

【氏名又は名称】 富田 博行

【選任した代理人】

【識別番号】 100096068

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 住江

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 051806

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ放送システムとリンクした情報サービス・システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 データ放送システムとリンクした情報サービス・システムであって、放送センタから放送用ネットワークを介して同報通信されるデータがアクセス情報を含んだイベント情報を含んでいる、情報サービス・システムにおいて、イベント情報に含まれているアクセス情報によりネットワークを介してアクセス可能なコンテンツ・プロバイダであって、該イベント情報に関する資料情報を提供するコンテンツ・プロバイダと、

ユーザ側に配置された記憶手段と、

ユーザ側に配置され、同報通信されたイベント情報のアクセス情報を電子的に抽出して記憶手段に格納させる抽出手段と、

ユーザ側に配置され、ユーザのワンタッチ操作により、抽出され格納されたアクセス情報をもとに自動的にネットワークに接続できるユーザ・ターミナルとからなり、抽出されたアクセス情報が付されたイベント情報に関する資料情報を、ユーザのワンタッチ操作でユーザに提示できるようにしたことを特徴とする情報サービス・システム。

【請求項2】 請求項1記載の情報サービス・システムにおいて、

コンテンツ・プロバイダはさらに、アクセス情報が同一の複数のイベント情報を放送センタに提供するとともに、これらイベント情報に対応する複数の資料情報のソースを含んでおり、かつ、イベント情報と資料情報との対照テーブルを備えており、

放送センタは、現在同報通信されているイベント情報が何であるかをコンテンツ・プロバイダに通知するよう構成されており、

コンテンツ・プロバイダは、対照テーブルを参照して、現在同報通信されているイベント情報に対応する資料情報を、アクセス情報によりアクセスされたときに提示する

ことを特徴とする情報サービス・システム。

【請求項3】 請求項1又は2記載の情報サービス・システムにおいて、

コンテンツ・プロバイダはさらに、イベント情報に関する資料情報を、該イベント情報が同報通信される前に、放送センタ及び放送用ネットワークを介してユーザーの記憶手段に記憶可能に構成されており、

該システムはさらに、ユーザ側に配置され、当該イベント情報が放送ネットワークを介して同報通信されたときに、ユーザの操作により、予め記憶された該イベント情報に関する資料情報を記憶手段から読み出してユーザ・ターミナルに提示する手段を備えていることを特徴とする情報サービス・システム。

【請求項4】 データ放送システムとリンクした情報サービス・システムであつて、放送センタから放送用ネットワークを介して同報通信されるデータがイベント情報を含んでいる、情報サービス・システムにおいて、

ユーザ側に配置され、記憶手段を含んだユーザ・ターミナルと、イベント情報に関する資料情報を、該イベント情報が同報通信される前に、放送センタ及び放送用ネットワークを介してユーザ・ターミナルの記憶手段に記憶させるコンテンツ・プロバイダと、

ユーザ側に配置され、当該イベント情報が放送用ネットワークを介して同報通信されたときに、ユーザの操作により、予め記憶された該イベント情報に関する資料情報を記憶手段から読み出してユーザ・ターミナルに提示する手段とからなり、イベント情報に関する資料情報を、イベント情報の提示時点でコンテンツ・プロバイダにアクセスすることなくユーザに提示できるようにしたことを特徴とする情報サービス・システム。

【請求項5】 請求項1～4いずれかに記載の情報サービス・システムにおいて、ユーザ・ターミナルは、パーソナル・コンピュータ、インターネット接続可能な電話端末の少なくとも一方であることを特徴とする情報サービス・システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の技術分野】

本発明は、データ放送システムとリンクした情報サービス・システムに関し、特に、データ放送のイベント情報を利用した情報サービス・システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

1996年に通信衛星（C S）を利用した日本初のデジタル衛星放送が開局してから、放送衛星（B S）を利用したデジタル放送へと、放送のデジタル化が進行しており、2010年までには、地上波放送を含めてほぼすべての放送がデジタル化される予定であると発表されている。このような放送のデジタル化により、デジタル圧縮技術によって多チャネル化が進むとともに、所定の周波数帯域中に、映像信号及び音声信号からなる通常の番組ビデオ信号とともに任意のイベント情報を埋め込むことが可能となった。

また、現在行われているアナログ放送においても、文字多重放送、V B I（垂直ブランкиング・インターバル）方式等のように、データを通常の番組放送に多重化したデータ放送が行われている。

【0003】

このようなデータ放送信号に含ませるイベント情報として、商品又は情報の広告及び宣伝のための情報が考えられ、該イベント情報には、より詳細な情報を提供するための、視聴者であるユーザがアクセス可能な電話番号やインターネット上のURLを含ませることが考えられる。広告及び宣伝される情報には、劇場、野外ステージ等のアトラクションに関する情報、国、地方自治体等の任意の団体の広報情報等が含まれる。そして、各家庭等のTV受像機に画像及び音声の少なくとも一方で提示されたこのようなイベント情報を視聴したユーザが、広告主又は宣伝主（以下、単に「広告主」）に電話するか又はホームページにアクセスし、これにより、広告主の商品又は情報の宣伝及び販売等に結びつけることができる。

【0004】

【課題を解決するための手段】

しかしながら、番組放送中にこのようなイベント情報が各家庭等のTV受像機において提示されたとしても、該情報はユーザに単に見えるだけであるか又は聞こえるだけである。そして、イベント情報は、番組ビデオ信号と同様に、VTR等の何らかの手段により番組を記録しておかない限り、提示終了時点でTV受像

機から消滅してしまう。

したがって、ユーザは、イベント情報中の広告及び宣伝に興味を持った場合、自分の記憶に頼って、該イベント情報中で示された電話番号又はURLにアクセスする必要があり、間違った番号にアクセスしてしまうことが多々ある。また、ユーザがメモ用紙にイベント情報中のアクセス情報を書きとめることも可能であるが、この場合も、間違った番号を書き写してしまうことがあるため、間違った番号にアクセスしてしまうことがある。

【0005】

さらに、番組をVTRに録画していたとしても、VTRから該番組を再生中に、イベント情報中の広告主へのアクセス情報を記憶したり書き写したりする必要があり、上記と同様に、ユーザは間違った番号にアクセスしてしまう恐れがある。

この結果、ユーザは、興味を抱いた商品又は情報を入手できなかったり、応募に出遅れたりすることになる。

本発明は、このような従来例の問題点に鑑みてなされたものであり、その目的は、データ放送中に組み込まれた広告主等へのアクセス情報を、ユーザが記憶したりメモ用紙に書き写したりすることを不要にした情報サービス・システムを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記した本発明の目的を達成するために、本発明に係る、データ放送システムとリンクした情報サービス・システムであって、放送センタから放送用ネットワークを介して同報通信されるデータがアクセス情報を含んだイベント情報を含んでいる、情報サービス・システムにおいては、

イベント情報に含まれているアクセス情報によりネットワークを介してアクセス可能なコンテンツ・プロバイダであって、該イベント情報に関連する資料情報を提供するコンテンツ・プロバイダと、

ユーザ側に配置された記憶手段と、

ユーザ側に配置され、同報通信されたイベント情報のアクセス情報を電子的に

抽出して記憶手段に格納させる抽出手段と、

ユーザ側に配置され、ユーザのワンタッチ操作により、抽出され格納されたアクセス情報をもとに自動的にネットワークに接続できるユーザ・ターミナルとからなり、抽出されたアクセス情報が付されたイベント情報に関する資料情報を、ユーザのワンタッチ操作でユーザに提示できるようにしたことを特徴としている。

【0007】

上記した情報サービス・システムにおいて、好適には、コンテンツ・プロバイダはさらに、アクセス情報が同一の複数のイベント情報を放送センタに提供するとともに、これらイベント情報に対応する複数の資料情報のソースを含んでおり、かつ、イベント情報と資料情報との対照テーブルを備えており、放送センタは、現在同報通信されているイベント情報が何であるかをコンテンツ・プロバイダに通知するよう構成されており、コンテンツ・プロバイダは、対照テーブルを参照して、現在同報通信されているイベント情報に対応する資料情報を、アクセス情報によりアクセスされたときに提示するよう構成されている。これにより、イベント情報と同期した資料情報をユーザに提供可能となる。

【0008】

上記した情報サービス・システムにおいて、コンテンツ・プロバイダはさらに、イベント情報に関する資料情報を、該イベント情報が同報通信される前に、放送センタ及び放送用ネットワークを介してユーザの記憶手段に記憶可能に構成されており、該システムはさらに、ユーザ側に配置され、当該イベント情報が放送ネットワークを介して同報通信されたときに、ユーザの操作により、予め記憶された該イベント情報に関する資料情報を記憶手段から読み出してユーザ・ターミナルに提示する手段を備えていることが好ましい。これにより、資料情報を入手するためのコンテンツ・プロバイダへのトラフィックを低減することができる。

【0009】

本発明はさらに、データ放送システムとリンクした情報サービス・システムであって、放送センタから放送用ネットワークを介して同報通信されるデータがイベント情報を含んでいる、情報サービス・システムにおいて、

ユーザ側に配置され、記憶手段を含んだユーザ・ターミナルと、イベント情報に関する資料情報を、該イベント情報が同報通信される前に、放送センタ及び放送用ネットワークを介してユーザ・ターミナルの記憶手段に記憶させるコンテンツ・プロバイダと、

ユーザ側に配置され、当該イベント情報が放送用ネットワークを介して同報通信されたときに、ユーザの操作により、予め記憶された該イベント情報に関する資料情報を記憶手段から読み出してユーザ・ターミナルに提示する手段とからなり、イベント情報に関する資料情報を、イベント情報の提示時点でコンテンツ・プロバイダにアクセスすることなくユーザに提示できるようにしたことを特徴とする情報サービス・システムを提供する。

【0010】

【発明の実施の態様】

図1は、本発明の情報インターネット・アクセス・システムの概要を説明するための説明図である。図1において、1は放送事業者の放送センタ、2は放送用ネットワーク、3はユーザ、4は電話ネットワーク、5は電話事業者コール・センタ、6は放送事業者コール・センタ、7はインターネット・サービス・プロバイダ、8はインターネット、9はコンテンツ・プロバイダである。図1に示すように、ユーザ3は、電話ネットワーク4に接続可能であり、インターネット・サービス・プロバイダ7を介してインターネット8に接続可能である。また、コンテンツ・プロバイダ9は、企業、国、又は地方自治体等の団体（以下、代表的に「広告主」）の情報プロバイダであり、電話ネットワーク4及びインターネット8に接続されているとともに、放送センタ1にデータ放送用のイベント情報である放送コンテンツを提供する。

なお、説明を簡単にするために、ユーザ3及びコンテンツ・プロバイダ9をそれぞれ1つだけ図示しているが、それぞれ複数であることは言うまでもない。

【0011】

ユーザ3は、図2に示すように、TV受信機31、パーソナル・コンピュータ(PC)32、インターネット接続可能な電話機33、及びセット・トップ・ボックス(STB)34を備えている。STB34は、TV受像機で受信した放送

デジタル信号中のイベント情報から特定の信号を抽出する信号抽出手段（チューナ）341及び記憶装置342を内蔵している。これらTV受信機31、PC32、電話機33は、ユーザ・ターミナルであり、ユーザ・ターミナルとして、これら全てを具備する必要がないことは勿論であり、また、PC32と電話機33とを一体化したユーザ・ターミナルを用いてもよい。さらに、STB34をPC32に組み入れても良く、PC32と電話機33とを一体化したユーザ・ターミナルにSTB34を組み入れても良い。

【0012】

以下、上記した構成を有する情報インターネット・アクセス・システムの動作を説明することによって、該システムの構成をより明確にする。

コンテンツ・プロバイダ9は、放送センタ1に対して通常の番組ビデオ信号に重畳すべき放送コンテンツを提供する。放送コンテンツは、映像信号と同期した広告用又は宣伝用のイベント情報であり、該イベント情報には、商品又は情報の広告宣伝情報が含まれており、ユーザが kontakt可能なコンテンツ・プロバイダ9の電話番号及びURL（必要に応じて、商品情報などの付加情報を含んだURL）の少なくとも一方（以下、「アクセス情報」）が含まれている。また、アクセス情報は、STB34の信号抽出手段341によって電子的に抽出可能な信号形態で構成されている。

【0013】

なお、イベント情報に含まれるアクセス情報には、URLや電話番号等の静的な情報の他に、Javaバイトコードやスクリプトのようなプログラム情報も採用可能である。アクセス情報がこのようなプログラム情報の場合、ユーザ・ターミナルであるPC32又は電話機33の予め設定したキーをオンすることにより、STB34の記憶装置342から該ユーザ・ターミナルにプログラム情報が転送され、該プログラムをユーザ・ターミナル上で実行することができる。この場合、プログラムの内容によって種々の実行結果を得ることが可能である。例えば、アクセス情報がURLである場合と同様に、ユーザ・ターミナルにおいて資料情報を取得することが可能である。また、ユーザ・ターミナルがコンテンツ・プロバイダ9と投票、応募、予約等の交信を行い、その結果を表示すること、さら

には、コンテンツ・プロバイダ9から別のプログラムをダウンロードしてユーザ・ターミナルで実行すること、等の種々の応用が可能である。

【0014】

広告主への、すなわちコンテンツ・プロバイダ9へのアクセス情報を含んだイベント情報が通常の番組ビデオ信号とともに放送センタ1から同報通信されると、放送用ネットワーク2を介してユーザ3のTV受像機31に受信され、それとともに、STB34の信号抽出手段341によってイベント情報からアクセス情報が自動的に抽出され、記憶装置342に抽出順に記憶される。

【0015】

ユーザがTV受像機31に提示されたイベント情報を見て興味を持った場合、PC32又はインターネット接続可能な電話機33の予め設定したキーをオンすることにより、STB34の記憶装置342から、最後に格納されたアクセス情報がPC32又は電話機33の送信レジスタに記憶される。そして、PC32又は電話機33の送信キーをオンすると、PC32はインターネット8を介して、電話機は電話ネットワーク4及びインターネット8を介して、コンテンツ・プロバイダ9のホームページに接続される。なお、アクセス情報が電話番号である場合、電話機33が電話ネットワーク4を介してコンテンツ・プロバイダ9の音響ソース等に接続されるようにしてもよい。

【0016】

したがって、ユーザは、TV受信機31に提示されたイベント情報のより詳細な情報を、コンテンツ・プロバイダ9から入手することができ、また、商品又は情報の購入申込もしくはイベント参加の申し込み等を、コンテンツ・プロバイダ9に対して行うことができる。このように、ユーザは、単一の操作で広告主にアクセスすることができ、しかも、アクセス情報を電子データのまま利用しているので、間違った場所又はホームページにアクセスしてしまうことが回避される。

【0017】

なお、STB34はTV受像機31内に組み入れてもよく、また、抽出したアクセス情報をSTB34内の記憶装置342に順次格納するとともに（又は、その代わりに）、PC32及び電話機33自身の記憶装置機能を利用して、アクセ

ス情報を記憶しても良い。この場合、PC32又は電話機33の送信キーをユーザが押すだけで、コンテンツ・プロバイダ9と接続される。PC32及び電話機33がモバイル型である場合、アクセス情報をこれら内部の記憶装置に蓄積すれば、携帯先でコンテンツ・プロバイダにワンタッチでアクセスすることができるるので、利用範囲が拡大する。

また、ユーザの操作により、記憶装置342に記憶された複数のアクセス情報をTV受像機31、PC32又は電話機33のモニタ画面に表示できるようにしてもよく、ユーザが、モニタ画面の表示を見てアクセス情報を選択し、該情報をPC又は電話機から送信するように構成してもよい。STB34にアクセス情報の表示部及び選択部を設けてもよい。

【0018】

図1及び図2に示した本発明に係る情報インターネット・アクセス・システムにおける動作を、さらに説明する。

データ放送フォーマットでは、コンテンツ・プロバイダ9と放送センタ1との連携が十分に考慮されていない。したがって、コンテンツ・プロバイダ9から放送センタ1に提供するコンテンツ情報（放送コンテンツ）と連動するように、当該コンテンツ情報の詳細情報をプロバイダ9のURL等に提示することが困難である。

そこで、本発明のシステムにおいては、コンテンツ・プロバイダ9は、同一のURLによりアクセスされる複数のホームページを提供し、該ホームページを切り換えるためのイベント発生表を備えている。これらのホームページは、コンテンツ・プロバイダ9から放送センタ1に提供される複数のイベント情報に対応しており、イベント発生表により、ホームページとイベント情報とが対応付けられている。

【0019】

放送センタ1は、コンテンツ・プロバイダ9に関連するイベント情報を同報通信すると同時に、コンテンツ・プロバイダ9にも当該イベント情報の同報通信を通知する。これにより、コンテンツ・プロバイダ9は、放送用ネットワーク2を介して同報通信されるイベント情報が切り換えられたことを検知することができ

、イベント発生表に基づいて、現在同報通信されているイベント情報に対応するホームページとなるように切り換える。

イベント情報の切り換えを、放送センタ1からコンテンツ・プロバイダ9に通知する代わりに、同報通信されたイベント情報を放送用ネットワーク2を介してコンテンツ・プロバイダ9が受信することにより、ホームページを切り替えるてもよい。

【0020】

したがって、同報通信されたイベント情報に含まれるURLが同一であっても、イベント情報の内容が変化した場合、それに対応したホームページをユーザに提供することができる。なお、イベント情報に含まれるアドレス情報は、URLだけではなく、電話番号であってもよいことは明らかであろう。この場合、コンテンツ・プロバイダ9の自動音声応答システムの音声ソースをイベント情報に対応して切り換えるようにすればよい。

イベント情報とホームページの内容等とが連動して変化するので、コンテンツ・プロバイダ9が広告代理店である場合等において、極めて有効である。

【0021】

本発明に係る情報インターネット・アクセス・システムにおける動作を、さらに説明する。

上記のようにユーザがワンタッチ操作するだけで、インターネット8又は電話ネットワーク4を介して広告主コール・センタ5に接続されるが、例えば、評判の高いコンサート等に関するイベント情報が同報通信された場合、ユーザ操作の容易性と相まって、広告主コール・センタ5にアクセスを試みるユーザが急激に増大する可能性がある。このような場合、回線容量が少ないサーバ等の設備がダウンしてしまうことがあり、したがって、サーバ側の設備投資やサービス応答速度及び回線速度の性能向上及び維持に関する費用が、アクセス数すなわちトラフィック量に相関して増大する。特に、PC及び電話機が結合された次世代電話機をアクセス手段として用いたインターネット・アクセスや、無線T1、xADSL、ケーブル・モデム等によるアクセスにおいては、通信速度が劇的に向上するため、サーバの負荷が現在の数倍～数十倍と増加する。

【0022】

そこで、本発明においては、アクセスが集中することが予想されかつ即時性がないイベント情報の場合、コンテンツ・プロバイダ9は、イベント情報をTV受像機31からユーザに提示する前に、当該イベント情報の詳細資料を、放送用ネットワークを介してユーザ3に配信し、STB34の記憶装置342に格納する。

そして、当該イベント情報は、適宜の時点で、放送センタ1から放送用ネットワーク2を介して同報通信され、ユーザがTV受像機31に提示されたイベント情報に興味を抱いた場合、ユーザは、自身の記憶装置342から対応する詳細資料を読み出し、TV受像機31、PC32、又は電話機33により詳細資料を視聴する。このとき、ユーザ・ターミナルからの要求により、記憶装置342からの読み出しは、最後に記憶した資料情報(ＵＲＬの掲載内容等)を読み出して提示することによって実行される。また、記憶装置342に現在記憶している詳細資料の一覧表をユーザ・ターミナルに提示し、ユーザが、該一覧表から適宜のものを選択することにより、詳細資料を提示するようにしてもよい。

【0023】

このように、詳細資料が予めユーザにダウンロードされているので、ユーザはコンテンツ・プロバイダ9のホームページにアクセスしたり電話したりする必要がない。若しくは、さらに必要な資料情報のみを入手するために、ホームページにアクセスすればよい。したがって、トラフィック量が大幅に低減するので、サーバ及び通信回線の負荷を大幅に低減することができる。

【0024】

本発明の好適な実施例について説明したが、本発明は上記した実施例に限定されず、種々の変形が可能である。例えば、ユーザ・ターミナルには、表示機能及びインターネット接続機能は必ずしも必要ではない。例えば、単純な音声記録装置や、音声記録装置又はデータ記憶装置を内蔵しつつスイッチを1つ備えたぬいぐるみであってもよい。

データ記憶装置を内蔵したぬいぐるみをユーザ・ターミナルとして用いた場合、本発明を適用することにより、以下のようにしてぬいぐるみを動作させること

が考えられる。まず、TV受像機31から音声でアナウンスがあり、それに対応したイベント情報が放送される。ユーザがそれに反応して、ぬいぐるみのボタンをオンすると、STB34の記憶装置342からぬいぐるみのデータ記憶装置にプログラム等の情報が転送され、該プログラムに従って、ぬいぐるみが声を出したり、動いたりする。また、既に格納されているプログラムを新しく送られてきたプログラムと置換することができ、これにより、ぬいぐるみの発声又は動作を変更することもできる。

【0025】

本発明は以上のように構成されているので、データ放送のデータ信号として含まれるイベント情報のより詳細な資料情報を、複雑な操作を必要とせずにワンタッチで入手することが可能となる。また、イベント情報を同報通信する前にその詳細情報をユーザ・ターミナルに配信しダウンロードしておくことにより、資料情報入手のためのトラフィック増大が防止される。さらに、イベント情報が切り換えられたときにそれに対応する資料情報も連動して切り換えられるようにしたので、イベント情報に真に対応する資料情報をユーザに提供可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

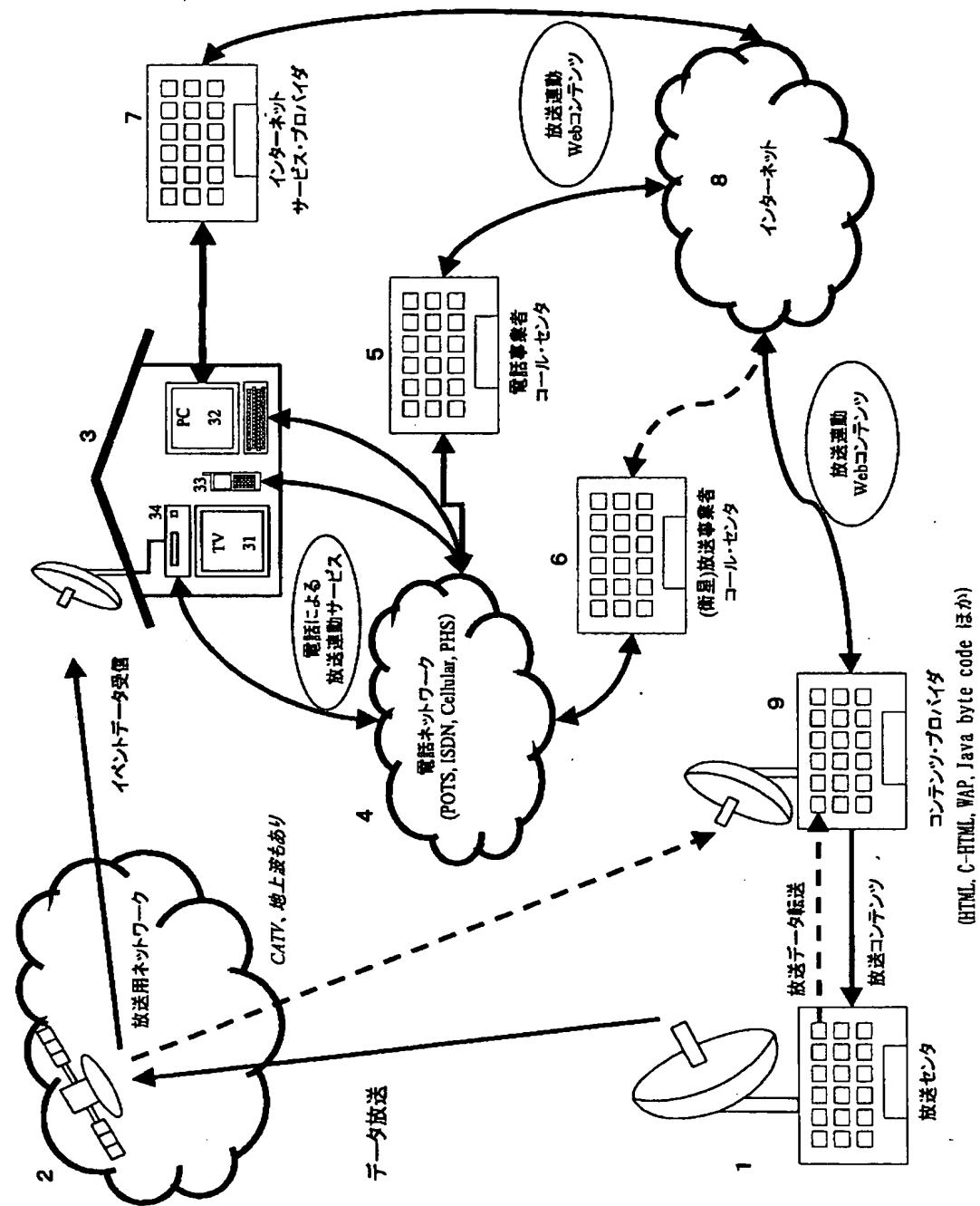
本発明に係るデータ放送システムとリンクした情報サービス・システムを説明するための概略説明図である。

【図2】

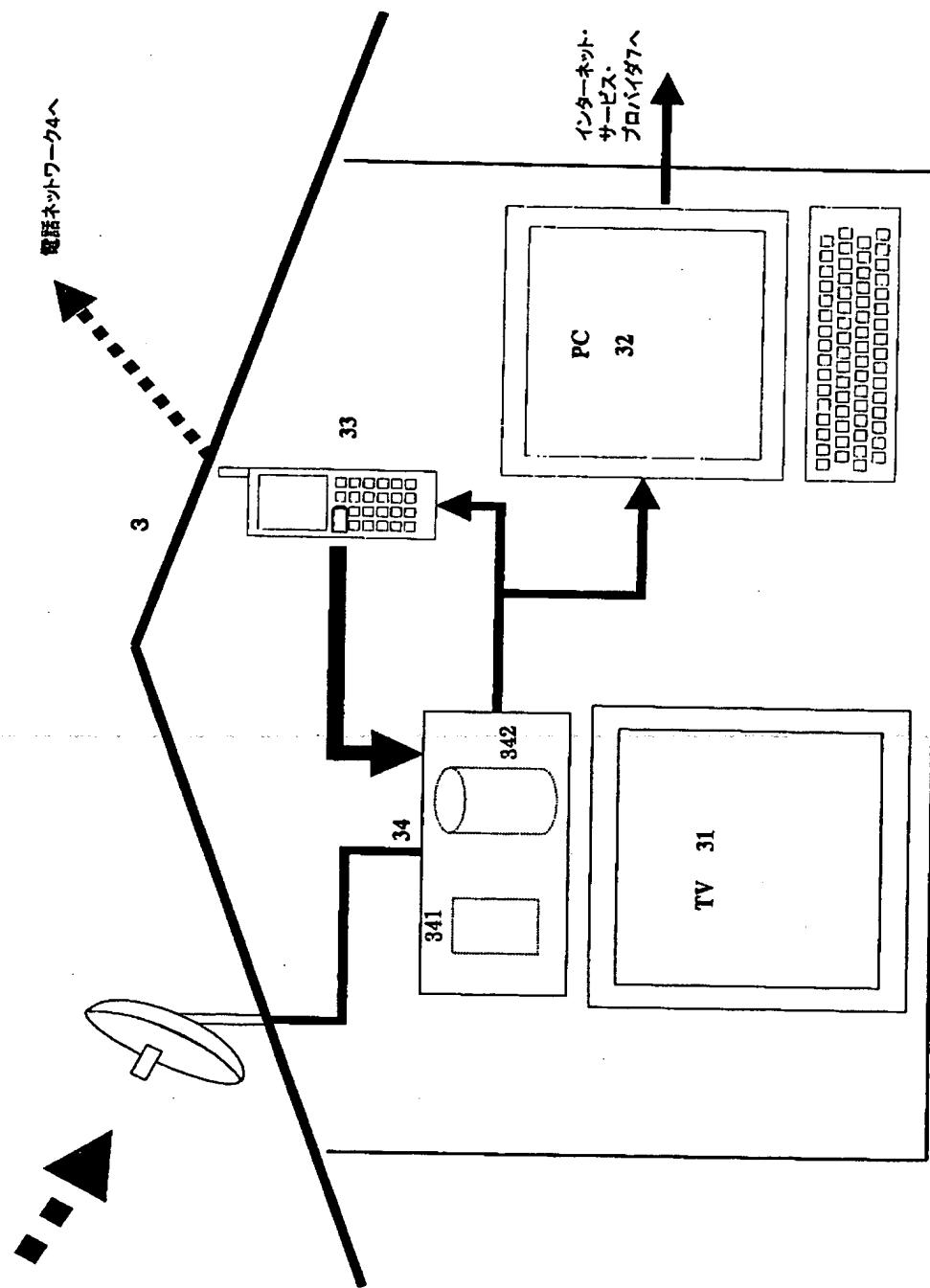
図1におけるユーザの具体的構成を説明するための拡大説明図である。

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 データ放送に組み込まれたアクセス情報に基づき、ワンタッチで広告主等にアクセス可能にする。

【解決手段】 コンテンツ・プロバイダ9へのアクセス情報を含んだイベント情報を通常の番組ビデオ信号とともに放送センタ1から放送されると、STB34の信号抽出手段341によってアクセス情報が抽出され、記憶装置342に記憶される。ユーザがTV受像機31に提示されたイベント情報を見て興味を持った場合、PC32又はインターネット接続可能な電話機33の予め設定したキーをオンすることにより、STBの記憶装置から最後に格納されたアクセス情報がPC又は電話機の送信レジスタに記憶される。PC又は電話機の送信キーをオンすると、コンテンツ・プロバイダのホームページに接続される。よって、イベント情報のより詳細な情報を、コンテンツ・プロバイダから入手することができ、商品購入申込等を行うことができる。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-222008
受付番号	50000928844
書類名	特許願
担当官	風戸 勝利 9083
作成日	平成12年 7月28日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	500247541
【住所又は居所】	東京都渋谷区渋谷一丁目22番2号 エスト渋谷 203号
【氏名又は名称】	株式会社メディアグラム
【代理人】	申請人

【識別番号】

【住所又は居所】	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町 ビル206区 ユアサハラ法律特許事務所
----------	---

【氏名又は名称】

【選任した代理人】	社本 一夫
-----------	-------

【識別番号】

【住所又は居所】	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町 ビル206区 ユアサハラ法律特許事務所
----------	---

【氏名又は名称】

【選任した代理人】	今井 庄亮
-----------	-------

【識別番号】

【住所又は居所】	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町 ビル206区 ユアサハラ法律特許事務所
----------	---

【氏名又は名称】

【選任した代理人】	増井 忠式
-----------	-------

【識別番号】

【住所又は居所】	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町 ビル206区 ユアサハラ法律特許事務所
----------	---

【氏名又は名称】

【選任した代理人】	小林 泰
-----------	------

【識別番号】

【住所又は居所】	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町
----------	------------------------

次頁有

認定・付加情報 (続き)

【氏名又は名称】 ビル206区 ユアサハラ法律特許事務所
富田 博行

【選任した代理人】

【識別番号】 100096068

【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町
ビル206区 ユアサハラ法律特許事務所

【氏名又は名称】 大塚 住江

出願人履歴情報

識別番号 [500247541]

1. 変更年月日 2000年 5月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都渋谷区渋谷一丁目22番2号 エスト渋谷203号
氏 名 株式会社メディアグラム